

## 6. 現況調査

### (1) 位置

文化発信交流拠点の整備場所に関しては、平成23年度の「文化発信交流拠点環境整備調査等委託業務」において利便性等の面から「那覇市内またはその周辺」に絞られ、平成24年度の文化発信交流拠点整備検討に関する業務委託事業の基本構想において、「国立劇場おきなわ」を中心とするエリア一帯を中心的な整備対象エリアが位置づけられた。

それを踏まえ、平成25年度の「文化発信交流拠点整備基本計画事業」の基本計画において、以下の2か所で施設配置プランが提示されている。

整備対象エリアの中心施設である国立劇場おきなわは、北緯6度14分47秒・東経127度41分19秒に位置し、所在地は浦添市勢理客で、周辺には県内有数の企業が立地している。



図 計画位置図

## (2) アクセス

計画対象エリアは、国道 58 号から西方およそ 500m 進んだところに位置しており、最寄りのバス停は「結の街」バス停で計画地まで徒歩 1 分、国道 58 号沿いの「勢理客」バス停から計画地までは徒歩 10 分で、4 路線、運行している。また、那覇空港からのアクセスは、那覇うみそらトンネル、波之上臨海道路(泊大橋)経由で約 20 分程度で到達する。

平成 29 年度 2 月には沖縄西海岸道路の一区間である浦添北道路が 2 車線開通しており、沖縄コンベンションセンター方面からのアクセス性も改善している。また、平成 31 年夏に、沖縄最大の商業施設が浦添北道路沿いに開業予定で、対象エリア周辺における人・物の流れが高まると予想される。

整備が進められている浦添北道路は、国道 58 号の交通混雑の緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上を目的としている。また、那覇西海岸道路、臨港道路と接続することにより、那覇空港から宜野湾市伊佐までのバイパスが形成され国道 58 号の渋滞解消に大きく貢献するとともに、対象エリアまでのアクセスも格段に向上することが期待される。



図 沖縄西海岸道路標準断面構成

資料: パンプ 内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所「沖縄西海岸道路 浦添北道路 地域高規格道路」

### (3) 計画地の現況

平成 25 年度の「文化発信交流拠点整備基本計画事業」の基本計画において、以下の 2 か所が文化発信交流拠点の整備場所として提示されている。

計画地及び周辺を俯瞰すると、浦添市の西方(海側)にあり、文化発信拠点施設に類する沖縄伝統芸能の殿堂である「国立劇場おきなわ」及び市の産業振興拠点である「浦添市産業振興センター結の街」が隣接しており、その周辺には第二次・第三次産業系の施設及びラジオ局が近接している。

なお、計画地の北方は駐留米軍施設の区域となっている。

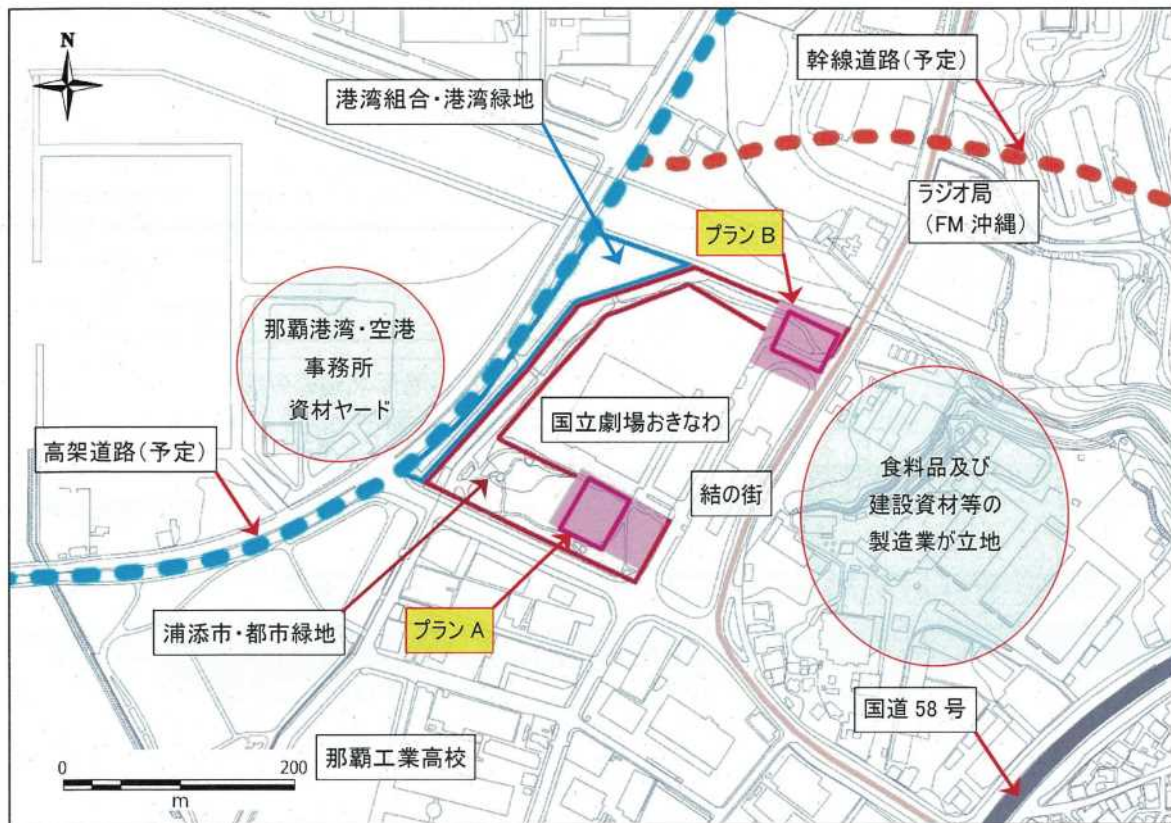


図 文化発信交流拠点の整備提示場所の周辺状況

提示されている敷地は浦添市の都市緑地に位置づけられており、過去の検討委員会でも以下のような指摘がなされている。

- ・都市計画の緑地指定、都市計画道路が間に通っており、景観を維持している緑地に港湾側からの橋脚計画があるなど、多くの制約を受けている。
- ・都市公園・都市緑地の制限の中で建設できる建物は、文化発信の拠点となるにはハードルが高い。
- ・劇場をつくるには厳しい条件下にあり、浦添市の都市計画の見直しも視野に入れるぐらいの長期的戦略がなければ、この地区で集積を図るのはなかなか難しい。
- ・この事業を進めるにあたって、地域に限らず広域的な視点で活性化していくためのプログラムを並行して検討する必要がある。

〔プラン A 風景写真〕



計画地内には 屋外トイレ、人口池、緑地等が整備されており、緑地は施設整備を行うに十分な面積となっている  
〔プラン B 風景写真〕



計画地内には屋外トイレ、遊歩道、休憩施設等が整備され、計画地横を浦添市の市道及び河川が通っている